

ステークホルダーと連携した SDGsの周知・啓発

さいたま市 都市戦略本部 都市経営戦略部



さいたま市の主なSDGsの取組状況

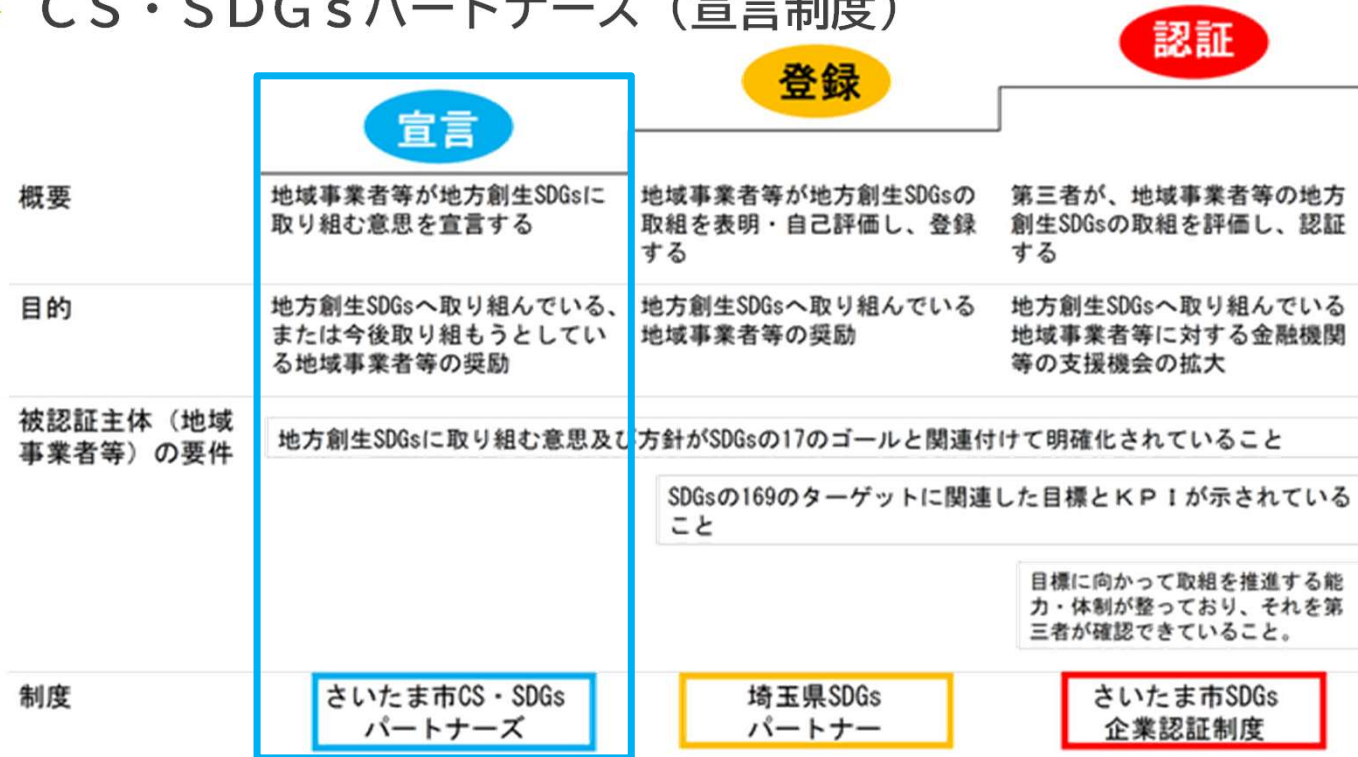
- ▶ 令和元年7月、SDGs未来都市選定
- ▶ 総合振興計画の政策単位でSDGsのゴールを明記
- ▶ ステークホルダーとの連携
 - ① 市民 企業等と連携した出前講座等の普及啓発
 - ② 企業
 - ③ 他自治体 連携都市とのイベントでの共同PR
(東日本連携都市(新幹線沿線)、上尾市・伊奈町等)

(参考) 連携都市とのSDGs推進ポスター



さいたま市のステークホルダー【企業】

▶ CS・SDGsパートナーズ（宣言制度）



※ 現在635者（令和6年10月末時点）

...普及啓発ブースの共同出展、大学・NPOと連携した講座などを実施

ステークホルダーとの連携

(1) 大宮マルイ

- ▶ 大宮駅西口駅前立地する商業施設
- ▶ さいたま市CS・SDGsパートナーズ
- ▶ 不定期にSDGsに関するイベントを実施。うち本市は3回出展



ステークホルダーとの連携

(1) 大宮マルイ①

- 令和元年9月・10月
大宮マルイが開催するイベントに、本市の情報発信ブースを出展
(次世代自動車の展示、フードドライブ、スマートウェルネスの紹介など)
- ▶ 群馬県みなかみ町（友好都市・東日本連携都市）も出展



▲次世代自動車の展示



▲マルイのパネル展示



▲みなかみ町の「木育の取組」

ステークホルダーとの連携

(1) 大宮マルイ②

- ▶ ① 大宮マルイが開催する「SDGsフェス」に、パートナーズとともに情報発信ブースを出展



パートナーズ名	展示内容
株式会社学研スタディエ (協力：ソフトバンク株式会社 CSR本部 & 株式会社100LDK)	SDGs バッジ作り等
アサヒユウアス株式会社	ペットボトル リサイクル啓発
ベルテクス株式会社	流域治水ジオラマによる 実演、シール配布、 フォトスポット



ステークホルダーとの連携

(1) 大宮マルイ②

- ▶ ② 福井県の出展
 - ・ 北陸新幹線延伸開業を見据えて連携協定を締結
 - ・ 連携事項の一つに「SDGsの推進に関すること」
- ▶ 内容
 - ・ SDGsの取組紹介パネルの展示
 - ・ 福井県のSDGsパートナーの出展
 - ・ ブランドキャラクターの撮影会
- ▶ ③ 東日本連携都市のSDGsの取組のパネル展示
岩手町・郡山市・みなかみ町・新潟市・高岡市・
金沢市・福井市・さいたま市



ステークホルダーとの連携

(1) 大宮マルイ③

- 令和6年8月
「さいたま市CS・SDGsパートナーズ
in 大宮マルイSDGsフェス」
- ▶ 大宮マルイが開催する「SDGsフェス」に、
パートナーズとともに情報発信ブースを出展
(パートナーズ4者、市のブース4課室)



ステークホルダーとの連携

(2) パートナーズ通信の発行・メーリングリスト

- ▶ パートナーズ登録団体のSDGsの取組について情報発信
- ▶ このほか、SDGsに関する市やパートナーズの事業をメーリングリストにて案内

vol.14

CS・SDGs パートナーズ通信

株式会社ベルテクスコーポレーション様の取組を紹介します

（株）ベルテクスコーポレーション様を含むベルテクスグループ様は、経営理念（ブランド・ビジョン）として「安心のカタチを造る。」を掲げています。この経営理念に基づき、グループを取り巻く社会環境や事業環境における様々な課題と長期的かつグローバルな社会的課題を示したSDGsの考え方を取り入れ、事業を通じた持続可能な社会の実現、グループが持続的に成長できるよう、サステナビリティ活動を推進されています。

サステナビリティ 環境への取組

温室効果ガスの排出量を算定・報告するために定められた国際的な基準「GHGプロトコル」に示された「Scope 1・2・3」に基づき、CO2削減目標（2018年度基準）を定めて活動されています。

項目	目標年	目標値	取組内容
Scope 1+2	2030年	50%削減（総量ベース）	コンクリート養生時の蒸気ボイラー燃料を重油からガス化し、CO2を約1/3削減。
	2050年	カーボンニュートラル	
Scope 3	2030年	40%削減（総量ベース）	低炭素コンクリートの技術でCO2を約30%削減
	2050年	カーボンニュートラル	

蒸気ボイラー燃料のガス化
CO2 排出量 約1/3 削減

重油 LPガス
【Scope 1+2 取り組み】

普通コンクリート 高炉スラグ微粉未を使用したコンクリート
CO2 排出量 約30% 削減
CO2削減
【Scope 3 取り組み】

流域治水オフィシャルサポーターでの活動

グループ会社のベルテクス様は、国土交通省が主催する「流域治水オフィシャルサポーター制度」に認定され、その一環として、各世代に向けた「流域治水」の普及啓発活動が行われています。



「23年度 SDGs フェス in 大宮マリエ」の地域イベント

担当者の方からひとこと

弊社は、サステナビリティ活動を通じて、2030年までのSDGs目標達成に向けて貢献してまいります。
【(株)ベルテクスコーポレーション サステナビリティ事務局】



発行：さいたま市 都市経営戦略部 企画・広域行政・SDGs推進担当

vol.15

CS・SDGs パートナーズ通信

大宮マリエ「SDGsフェス」に出展しました！

令和6年8月、大宮マリエ様が開催するイベント「SDGsフェス」に、CS・SDGsパートナーズの賛同企業様とともに出展しました。多くの方にお越しをいただき、展示や体験を通じてSDGsについて知っていただけるきっかけになりました。

生活に身近なSDGsのPR

さいたま市はPRを通じて、市民一人一人がSDGsを身近に感じ、生活の中で意識していただくことを目指しています。市のブースでは、健康マイレージ、デジタル地域通貨、里親制度、脱炭素につながるデコ活をPRしました。



特徴をいかした企業ブース

企業ブースでは、株式会社学研スタディエック（協力：ソフトバンク株式会社様、10OLDK様）、ベルテクス株式会社様、株式会社MIRAI様にご出展いただきました。株式会社学研スタディエックは、バッジ作りの体験、また、pepperによるクイズ等を行い、多くの方が立ち止まり楽しんでいました。ベルテクス株式会社様は、紙芝居でご出展。流域治水について、子どもにもわかりやすいお話で楽しみながら学ぶ姿が見られました。株式会社MIRAI様は、太陽光パネルと蓄電池を展示し、子どもの自由研究としても興味を持っていただけていました。



市の担当者からひとこと

今後もSDGsに関するイベント開催の際には賛同企業様にお声掛けさせていただきますので、ぜひご出展をご検討ください！

発行：さいたま市 都市経営戦略部 企画・広域行政・SDGs推進担当

ステークホルダーとの連携の今後

- ▶ さいたま市はSDGsに対する市民認知度の割合は高い（86.9%）が、意識して行動している割合（52.7%）とは乖離がある。

➡市民をターゲットにしたイベントや、市民が集まるイベントへのPRは引き続き検討

- ▶ SDGsの推進には、各企業の取組やその支援だけではなく、ステークホルダー同士の連携が不可欠

➡連携できる部分に注目し、持続可能な協力関係になっていることが重要

